

評価問題例

HOME

単元の流れへ

本時の流れへ

1 次の文章を読んで答えなさい。
 たった一人でかげおくりをするちいちゃんはどんな気持ちでしたか。ちいちゃんの気持ちに分かる言葉や文の右横に線を引き、次のことに気をつけて書きましよう。(実際に活用する場合は、抜粋文〔十三ページの八行目から十五ページの六行目まで〕を掲載する。)

- ① 「声」「かげ(かげぼうし)」「空」の3つのキーワードから一つ選んで書きましよう。
- ② ちいちゃんの言葉で書きましよう。
- ③ 百五十文字ぐらいで書いてみましよう。

具体の評価規準例

◎①～③の条件を満たし、文章の記述に即して一人がかげおくりをするちいちゃんの気持ちやその変化について、キーワードを意識しながら丁寧に読み取り、表現できている。

○①～③の条件をほぼ満たし、一人でかげおくりをするちいちゃんの気持ちについて、サイドラインを引いた部分から読み取ることができている。

(解答例)

「まぶしいな。のどがかわいたなあ。あつ、お父ちゃんとお母ちゃんの声だ。いっしょにわたしもかげおくりがしたい。がんばって立ち上がろう。でも、たった一つしか、かげぼうしがないな。前は四つあったのにさみしいな。あれ、おにちゃんの声も聞こえる! みんなに会いたいな。青い空に白いかげがくつきり四つある! お父ちゃん。お母ちゃん。お兄ちゃん。」

「こ?」

「ど」

評価問題のポイント

- 1 サイドラインを引くことにより、根拠を明らかにしながら、主人公の気持ちを読み取り、表現する問題である。主人公の会話形式で書かせることにしたが、学級の実態に合わせて指導したい。
- 2 「ちいちゃんのかげおくり」で学んだ言葉を使って、適切な文章を作成する問題である。主語と述語の整った文章の記述を心掛けさせたい。
- 3 動作を表す言葉について自分なりの説明をさせる問題である。どのように表現してよいか分かりにくい児童には、「ちいちゃんのかげおくり」の場面や日常生活の場面に沿って具体的に記述するように助言する。

- 2 次の言葉を使って、文章を作りなさい。
 ① 「くからふってきました」
 「ふみしめる」
- 3 次の動作を表す言葉はどのような様子をあらわしていますか。
 「見上げる」
 「見回す」